

# 安全と恒例 知識の確認

Z 2 0

2 0 0 9 . 5 . 5

J R 東 海 労 東 二 運 分 会

## 乗務員はいつも目指している 90点でも99点でもない 100点を

古い話しですが所内詩4月号で所長、各科長が安全・安定輸送を強調していました。特に所長は、90点でも99点でも駄目、基本動作が大切で「常に100点」でなければならないと強調しています。言われるまでもなく乗務員は常に100点を目指して業務についています。

ところで、みなさんは名松線の車両逸走事故の責任はどこにあると思いますか。もちろん完全な転動防止手配を取らなかった運転士の責任は大きいと思います。しかし同じ事故が3年前にも発生しています。この時はブレーキ装置を改善しましたが、基本は乗務員の注意力でした。

この乗務員の注意力を「基本動作」と言い、「運転士が基本ルールを守らず事故が起きた」(松本社長・定例記者会見)と言い切っています。記者から「沿線住民はJR東海に不信感を持っている、謝罪はしたのか？」と問われたものの、謝罪や説明の場の設定すらなかったそうです。

わたしたち東海労は、車両だけでなく駅設備の改善と、運転士に全ての責任を取らせる体制の見直しを申し入れました。しかし会社は、ブレーキ設備の改善策を、と言いつつも「乗務員の転動防止手配失念が原因」、そして「更なる乗務員教育の徹底を」と回答しています。駅構内のレベル化や安全側線の設置は全く考えていないそうです。

こんな、無責任な安全体質、すなわち会社に責任はない、責任は全て運転士・乗務員、という体質が残念ながらあらためてはっきりしました。この体質は新幹線も同じです。責任は、十分な対策をしなかった会社にこそあります。

### ご安心を たかが70点(されど70点かな?)

さて、GW明け早々に恒例となっている「知識の確認」試験が開始されます。初日に訓練指定の乗務員からは、あきらめにも近いため息が聞こえてきそうです。

今年も指導科と営業科が共に、試験内容が漏洩しないような対策を考えているようですが、いつも目指している「100点」と比べれば、たかが「70点」です。心して挑み、「日頃の成果」を十分に発揮しましょう。

「事故ゼロに 情報共有 有効打」 C D 頑 爺  
= 海外出張のため ご無沙汰でした 新型インフルエンザにご注意を C D 頑 爺 =